

2の

広報

2005
No. 613



福は内。

たくさんの福
やってこい

元気な声で「福は内、鬼は外」
2月3日「節分の日」に豆をまき、福を呼び込む園児たち
久しぶりに積もった雪に大喜び
写真は根雨保育所うめ組さん

日野病院組合

黒坂診療が開所

2/25

から毎週水・金曜日

午後2時～午後4時

黒坂診療所（町公民館内）電話 74-0351

黒坂診療所のご案内

住民の皆様

開所	<p>診察 毎週水・金曜日</p> <p>時間 午後2時～午後4時 (祝日の場合は休診します)</p>
内容	<p>町公民館内に診療所を開設しました。浜副病院長が出向き、内科・外科を診察します。受診後の処方箋（薬）は、患者さんが希望する薬局でお受け取りください。（トミヤ調剤薬局・おしどり調剤薬局は、自宅まで配達します）。診察料は診療所（受付）で支払い、薬代は配達時に支払ってください。</p> <p>各方面に無料送迎車を運行しますので、ご利用ください。</p>

信頼され、親しまれる病院をめざします。

日野病院組合黒坂診療所

電話 (0859) 74 0351

お気軽にご参加ください。

開所記念の Event **催し**

もちつき・ぜんざいサービス

時間 正午～午後1時

場所 町公民館ロビー

内容 寿来の会（久住）によるもちつき、黒坂地区の皆さんによるぜんざいサービス。

講演会

講師 浜副隆一病院長

演題 病気とうまくつきあう法

時間 午後1時～午後1時50分

場所 町公民館講堂（2階）



地域医療の確立へ

黒坂地区に診療所を。住民の願いに応え、黒坂に診療所ができます。

山間地中核病院として信頼される病院をめざす日野病院組合（管理者梅林豊）は、黒坂地区の医療充実を図ろうと、2月25日から週2回（水・金）、町公民館内に黒坂診療所を開設します。診療所は、町公民館内の一部（約37平方メートル）を改装。中には、診察室、処置室、受付待合室があります。

現在、黒坂地区は歯科以外に診療所がなく、日野病院まで車で15分かかっていました。以前黒坂街部には、佐伯医院がありました。約15年前にその灯りも消えました。これを受け、日

野病院による巡回診療所が平成2年11月に開設。老人福祉センターの一部を利用して行われていましたが、平成12年に発生した鳥取県西部地震を機に取りやめになりました。

この医療の現状に住民から「診療所を開設してほしい」と要望があり、このたび日野病院組合が地域の声に応え、診療所を開設することにしました。

黒坂診療所の診療日は、水曜日と金曜日の週2回で、診療科目は内科と外科。診療は浜副隆一病院長が担当し、心電計やエコー（超音波診断装置）などを使って診療します。スタッフは看護師と受付などを担当する事務職員が出向きます。診察時間

（受付時間）は午後2時から午後4時までです。診察料は受診後に受付窓口で支払い、処方箋（薬）が出る場合は、患者が指定した薬局で受け取ります。なお、トミヤ調剤薬局・おしどり調剤薬局であれば直接自宅まで配達します。薬代は受取時に支払ってください。また、多くの人に利用してもら

おうと、各黒坂地区内と診療所の間を運行する無料送迎車（10人乗り）を走らせ、受診者の利便を図ります。

日野病院は、積極的に地域に出かけていくなど地域の事情に合わせた独自医療サービスを検討するなど、まちの医療拠点として期待されています。



看護師「長岡恵子さん

浜副病院長

医事課「倉間紀代子さん

私たちが行きます。よろしく願います。



送迎車

黒坂診療所と地域を無料運行

町民歌「きらりこのまち」を流しながら運行します。ご利用の方は、手を上げてお知らせください。

無料送迎車のコースと通過時間

下記時刻は通過の目安です。運行コースなど詳しくは、日野病院（電話 72-0351）にお問合せください。

上菅方面

- 諏訪集会所 13:25
- 漆原集会所 13:30
- 上菅駅前 13:35
- 小河内バス停 13:40

帰路便は 15:00 診療所発

久住方面（毎週水曜日運行）

- 久住集会所 14:05

帰路便は 15:30 診療所発

■中菅方面（毎週金曜日運行）

- 畑中央橋 13:55
- 中菅集会所 14:10

帰路便は 15:30 診療所発

■下黒坂・下菅方面

- 下黒坂公民館 14:30
- 下菅集会所 14:35

帰路便は 16:10 診療所発

Interview

日野病院の病院長に就任して8か月が過ぎた浜副病院長。日野病院は、だれもが生きいきと暮らせるまちの実現に向け、1歩1歩着実に前進しています。黒坂診療所の開設や日野病院の展望について話を聞きました。



Ryūichi Hamazoe

浜副隆一病院長
はまぞえ・りゅういち

これからも地域の声に応えられるよう努めます

日野病院まで距離のあった黒坂地区に診療所を開設しました。診療所を拠点として地域に良質の医療を提供していきたいと思えます。これからも地域の要望に応えられるよう取り組んでいきます。これからも、地域に出かけていくなど皆さんにとって身近な存在になりたいです。

寄稿文

昨年6月から12月まで下上菅地区で、農業とボランティア活動を通して、耕作放棄地の農地化、未就業の若者が仕事をしていくきっかけづくりを目的とした「若者地域づくり支援事業」が行われました。この事業をサポートした日野ボランティア・ネットワークの山下弘彦さん

若者地域づくり支援

(根雨)に活動を通して感じたことを寄稿してもらいましたので紹介します。

日野ボランティア・ネットワーク
(ひのぼらねっと)

山下弘彦さん(根雨)

県内で増えている耕作放棄地の農地化、そして未就業の若者が仕事をしていくきっかけづくりを目的とした「若者地域づくり支援事業」が県内3地区で行われました。西部地区では日野ボランティア・ネットワーク(ひのぼらねっと)が県より委託を受け、下上菅地区を拠点に6月から12月まで活動しました。

参加したのは、17歳から28歳までの若者3人(町内2人、米子市1人)。参加者を支えるスタッフとして、ひのぼらねっとから2人、下上菅地区の方3人にも農業指導をしていただきました。

農業活動では、約75㍍の遊休農地で「そば作り」。畑の草刈りから耕運、種まき、刈り取りまで行いました。収穫量は多くありませんでしたが、初めて使った草刈り機、トラクターなどの農機具も使い方を教わり、何とか扱えるようになりまし。他にもナス、ピーマン、トマトなど多くの野菜を作りました。

農業をしていくにあたり、周辺の環境整備、農産物の2次加工、流通経路など広い視野を持つことが大切で、これらにも目を向けるため、日頃から道路脇の草刈り、イノシシ防柵を作る活動、「里

山ものつくり大学」に参加して農産物加工品作りなどを体験。様々な活動を通して、少しでも農業集落の維持と地域づくりの手伝いができるように努めました。

もうひとつの事業の柱「ボランティア活動」。若者の就業意識を高めていくことが目的でした。

町ボランティアセンターに依頼のあった困りごとを解決する活動、ひのぼらねっとと企画「高齢者誕生月プレゼント」では贈物づくりや家庭訪問。また、中越地震の被災地に贈る「かきもち作り」にも参加

直接顔が見えない人に対して、想像を巡らせ、思いを寄せながら行動することを学べたのではないかと思います。

期間中の活動は、月に半分程度の日数。雨の日には畑の様子を見に行ったり、切ってきた竹でイスを作ったり。

自然の恵みを満喫するため、昼食は自分たちで作った野菜を中心に、みんなで自炊。「同じ釜の飯」を食べ、コミュニケーションも徐々に取り合えるようになりました。自分たちで栽培から収穫、調理して食べました。

期間中3人ともほとんど休むこともなく活動を続けました。事業を始め

に発言することはありませんでした。しかし、7か月間の活動を通して状況に応じて自分の考えを言ったり、自分から進んで行動したりといったことが増えていきました。

姿勢の変化は、様々な活動に参加して多くの方と関わりを持ち、刺激を受けたり、温かく受け入れてもらえたり「ありがとう」と言ってもらえることで、自分が行動した結果を実感。それが自信につながったりすることで出てきたものだと思います。

もうひとつの発見は、サ

7か月間で成長した若者3人 行動の積み重ねが自信につながる

事業を始め



県広報コンクール

この
広報紙
1枚写真
組写真

3
部門で特選

取材にご協力ありがとうございました。

平成16年鳥取県広報コンクール(鳥取県広報協会など主催)が1月19日、鳥取県庁で行われ「広報ひの」が、広報紙、1枚写真、組み写真の3部門で特選に選ばれました。3つの作品は、4月下旬に行われる全国広報コンクール(日本広報協会主催)に県代表(昨年は、広報紙町村2部で特選)総務大臣賞を受賞)として推薦されます。

広報紙で特選になった平成16年11月号は、行政に頼らず自主的に活動を続けるオシドリグループを中心に、広がる地域支援や交流の輪、オシドリ観察の魅力などを取材しました。1枚写真は16年10月号で紹介した「コア職人」(中村庸一さん)「三谷」。組み写真は16年12月号で紹介した「フライフィッシングロードづくりの

職人」(石田秀登さん)「中菅」で、大小9枚の複数写真です。広報紙は、行政だけでの力で作るものではなく、住民の皆さんの情報や協力によって作られます。いくら特選に選

ばれたからといって、実際に皆さんに読まれ、親しまれなければ意味がありません。まちは、これからも行政と皆さんを結びパイプ役として「地域のオンリーワン広報紙」を

目指して編集、発行に努めていきます。皆さんからの情報、ご意見、お便りなどお寄せください。役場企画振興課広報広聴係 電話72 03332



上)特集オシドリを掲載した広報ひの11月号。全40ページ

中)1枚写真で特選のコア職人(中村庸一さん=三谷)

下)組写真で特選のフライフィッシングロードづくり職人(石田秀登さん=中菅)



ポートした大人たちが、若者以上に生きいきとしていたこと。豊かな自然の中で様々な人と関わりながら農作業などをする活動は、若者たちだけではなく、大人を含めた多くの人が必要としていることなのかもしれません。

温かい言葉とともに、担い手が少ない農業集落で、限られた時間で自分が自分たちが集落の維持活動に関わっているということ、参加した若者たちに少しでも実感してくれたいと思います。また、農

この事業は1年限りですが「人づくり」「土づくり・ものづくりの農業」は、どちらも短期間で成るものではなく長期的な視点が必要です。これから担い手となっていく若者たちが元気を出してくれるよ

うな取り組みは、ますます重要になっていくと思えます。また、地域では、多くの人と関わりが持てるように、外に目を向けた取り組みも重要なのではないのでしょうか。若者たちには、この事業に参加した期間がんばったとい

うことで終わりにせず、ここでの活動を礎のひとつとして個人としてますます成長するとともに、地域にも貢献してくれることを望んでいます。



地産地消に取り組み学校給食

生産者の顔が見える

学校給食の充実を図ろうと、
 全国学校給食週間（1月25日
 から30日）中の1月25日・26
 日・28日の3日間、給食の試
 食会が、根雨・黒坂小学校、
 日野中学校で開かれました。
 試食会には、地域で採れた
 ものを地域で消費しようとする



給食試食会（1日に約350食）では、生産者が子どもたちと一しょに給食を食べる。地産地消の給食は、子どもたちに安心・安全な給食を届け、生産者にも活力を与える（写真＝根雨小4年教室）

「地産地消」を進めようと、
 ネギ、白菜、大根など町内産
 の野菜や米、県内産の食材
 をふんだんに使用。3日間
 で延べ65人の生産者、関係者
 などが参加し、それぞれの学
 校で児童、生徒たちといっ
 しょに給食を味わいました。
 試食会に参加し、初めて給
 食を食べた川上幸枝さん（本
 郷）は、食材も提供。「子ども
 たちの口に入るので、無農薬
 栽培にこだわっています。喜
 んで食べてくれるので作る励
 みになります」と話し、子ど
 もたちは「野菜に近所の人の
 顔が写って見えて、味がい深
 い」などと話していました。

町内の学校給食「地産地消」
 は、3年前の米飯（町内産コ
 シヒカリ100%）から始め
 り、今年度2学期には町内産
 と県内産を合わせた割合（米
 を除く）は70%（昨年同時期
 は45%）を超え、その内、町
 内産の割合は3年前の2%
 から49%に上昇しました。

食を取り巻く環境は、遺伝
 子組み替え、産地偽造など深
 刻になっていきます。食は、体
 と心の健康に深く結びついて
 いることから、生産者の顔が
 見え、安心して安全な給食が求
 められています。

Information

新しい保育所の名称が決まる

私が名付けました。



矢田貝春奈さん
 （黒坂・黒坂小4年）

ひのっこ保育所

根雨、日野保育所の統合により移転新築
 （津地地内）する新しい保育所の名称が決ま
 りました。

名称募集には、町内31人から26名の応募が
 あり、1月20日に開発センターで行われた審
 査会で、矢田貝春奈さん（黒坂・黒坂小4年
 生）が考えた「ひのっこ保育所」に決まりま
 した。

ひのっこ保育所は、3月7日（月）の開所
 予定で、町内産のスギヤヒノキを使用。入所
 前乳幼児保育相談や保護者のコミュニケーション
 ションの場として利用できる「子育て支援室」
 も併設しています。

ひのっこ保育所内を一般公開します。施設内を見
 学できますので、お越しください。

- 【日時】 3月4日（金）午後1時～午後4時まで
- 【場所】 ひのっこ保育所（津地）
- 【問合せ先】 役場健康福祉課

（電話72 0334）

Interview

きらりこの人



VOL. 9

ソフトテニス Soft Tennis

全国の舞台へ 強豪たちに挑戦

3月29日から千葉県白子町で開かれる第4回全国小学生ソフトテニス大会に、町内の小学生6人(3ペア)が県代表として出場します。

全国大会には、小学5年生の部に西村賢人さん、頭本憲明さんペア(以上黒坂小5年)小学4年生以下の部に西村美咲さん(黒坂小4年)、木村理沙さん(黒坂小3年)ペアと松原史奈さん、石田千春さんペア(以上根雨小4年)が出場します。

3ペアは、1月に開かれた県予選会(江府町総合体育館)で、西村・木村ペアが優勝、西村・頭本ペアと松原・石田ペアが3位入賞し、全国大会への出場キップを獲得しました。

全国大会は、各都道府県の予選を勝ち抜いた強豪選手が出場。約300ペアが集う春の大きな大会として知られています。町内のソフトテニスのレベルは高く、第1回大会からの連続出場で、全国大会でも活躍が期待されます。

第4回全国小学生ソフトテニス大会 千葉県白子町 3/29～

Fumina Matsubara & Chiharu Ishida



松原 史奈さん
(根雨小4年・津地)



石田 千春さん
(根雨小4年・下榎)

最後まであきらめないテニスで強豪に挑戦

Misaki Nishimura & Risa Kimura



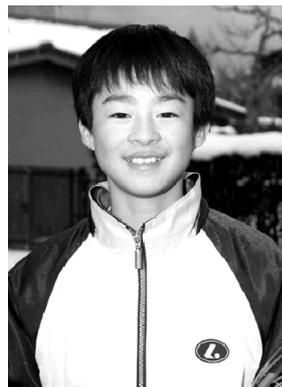
西村 美咲さん
(黒坂小4年・福長)



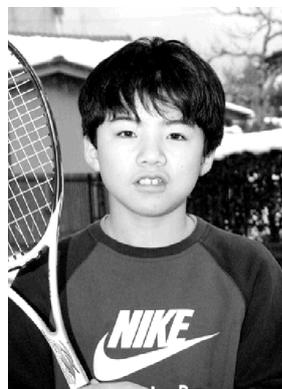
木村 理沙さん
(黒坂小3年・黒坂)

2人で力を合わせ、1試合でも多く勝つ

Kento Nishimura & Noriaki Kashiramoto



西村 賢人さん
(黒坂小5年・福長)



頭本 憲明さん
(黒坂小5年・下黒坂)

予選1位で通過、トーナメントでベスト4



地区内の安全を祈る「御日待講」。安原では200年前から続く

五穀豊じょうを願う

安原地区で御日待講おひまちこう

安原地区で200年以上前(江戸時代後期)から続く、地区内の安全や健康、五穀豊じょうを祈る「御日待講」が1月18日、同地区内で行われました。毎年、世話役の当自宅で18日に行われ、今年は松本敏紀さんが会場。最近厄払いも兼ねていて、厄年を迎えた人や地区内の住民ら約20人が参加しました。

参加者は、宮司にお払いを受けた後、酒を交わしながら親睦を図りました。同地区では、過去の開催記録やその年の地区内の出来事などをつづった帳簿が残され続けていて、当時の歴史を見ることが出来ます。

自治会長の瀬田幸宏さんは「これからも地域の伝統を守り続け、親睦を深めていきたいです」と話していました。

まちの話題

あなたの町や地域、職場での話題をお寄せください。
投稿企画張紙まで (電話72-03332)



いっしょに手や体を動かす園児たち

楽しいリズムに乗って

根雨保育所ではなし会

エレクトーンのリズムカルな音に合わせ踊って歌う。米子市の劇団「えんどうまめ」のおはなし会が1月27日、根雨保育所で開かれました。

この日は、ネコの医者がいるいるな患者を診察する物語など、パネルに絵人形を貼りながら話を進める「パネルシアター」に園児たちは大喜び。元気な声でいっしょに歌ったり、手拍子をしながら楽しい話に聞き入っていました。



だれでも楽しめるスポーツ。子どもたちも気軽に挑戦

遊び感覚でスポーツを楽しむ

ニユースポーツ教室

楽しみながら適度に体を動かそうと、ニユースポーツ教室が1月22日、黒坂小学校体育館で開かれました。

スポンジボールのついた羽を打ち合う「ファミリーバドミントン」など、だれにでも気軽に楽しめる種目がたくさんあり、参加者は、町体育指導委員の指導のもと、さわやかな汗を流していました。教室は計4回開かれる予定になっています。



来観者1万人目の竹内淑子さん(左から2番目)



元気よくもちをつきあげる児童たち

収穫を祝いもちつき

根雨小もちつき大会

自然の恵みに感謝するとともに元気でいい年を過ごそうと1月17日、根雨小学校(青戸哲範校長)で、もちつき大会が開かれました。

全校児童145人が学年別に分かれ、60^{キロ}のもち米を保護者や地域の人などに協力してもらいながらつきあげました。できあがったもちは、ぜんざい、雑煮などにして昼に食べました。

同校では、校舎近くの水田5^{アール}でもち米を栽培し、昨年5月に苗を植え、9月に収穫。その内30^{キロ}のもち米は、町内の福祉施設にプレゼントしました。

オシドリ観察1万人突破

今シーズンもにぎわう観察小屋

まちに飛来するオシドリを見ようと、観察小屋(日野川・根雨)を訪れる来観者が2月7日、1万人を超えました。記念の来観者は、竹内淑子さん(岡山県勝北町)でオシドリグループ(池岡幸三代表)から記念品が贈られました。

竹内さんは、来観2度目で、何度見ても美しく感動的な鳥です。また見に来たいと思います」と話しました。オシドリは3月下旬には北帰行するため、観察期間も後1か月です。



大きな声を出しながら外に豆をまく園児たち



1手1手じっくり考えながら碁を指す参加者たち

碁盤を囲んで熱戦

新春囲碁大会

囲碁を通じて親睦を図ろうと1月30日、新春囲碁大会が開発センターで開かれました。

大会結果は次のとおり(敬称略)

【A組】優勝〃川上博久(江府町)

2位〃西村正満(下榎) 3位

〃小谷三郎(下榎)

【B組】優勝〃生田正剛(下黒坂)

2位〃加藤泰利(根雨) 3位

〃若林勲(根雨)

【C組】優勝〃富田徹(日南町)

2位〃中尾博(濁谷) 3位〃

三輪勲一(江府町)

福の神を呼び込む

保育所で豆まき

2月3日「節分の日」に、根雨・黒坂保育所で恒例の豆まきがありました。

園児たちは、自分たちで作った色とりどりの鬼の面をかぶり、自分の中にいる「泣き虫鬼」「いじわる鬼」「わがまま鬼」などを追い出そうと、外に向かって元気な声で豆をまき、福の神を自分の中に呼び込んでいました。

おしらせ

Information

自衛隊幹部候補生募集

(陸・海・空)

【資格】

大学程度の学力を有する方

【年齢】

平成18年4月1日現在で22歳以上26歳未満の方

【受付期間】

4月上旬～5月上旬

【試験日】

1次試験(筆記試験等)
5月下旬

2次試験(口述・身体検査等)
6月下旬

【入隊】
平成18年4月1日

【身分・待遇】
特別職国家公務員

給与 月額21万3300円

賞与(期末勤勉手当)4・4か月)

昇給 年1回

その他に勤務や職務に心じて各種手当、各種保険、年金制度が充実

【問合せ先】
自衛隊鳥取地方連絡部米子

募集事務所(米子市東町)
電話0859 33 2440

古電話帳回収のお願い

NTT西日本では、新しい電話帳「タウンページ・ハローページ」を3月上旬から配達します。

回収した古い電話帳は、リサイクルして新しい電話帳に再生しています。紙資源の節約にご協力ください。

なお、配達日に不在の方につきましては、別途回収に訪問しますのでタウンページセントフリーダイヤル(電話0120 506 309)まで連絡ください。

交通事故の無料相談

交通事故にあった場合、賠償請求についてどうしたらいいのかわからない。鳥取自動車保険請求相談センター(日本損害保

険協会)では、専門の相談員が自動車損害賠償責任保険、任意自動車保険の請求や損害保険一般の相談などを無料で受け付けています。気軽に相談ください。

【相談受付日】
月～金曜日(祝日を除く)
午前9時～午前12時
午後1時～午後5時
電話0857 24 4233

火の取扱いに注意
春季全国火災予防運動

空気が乾燥し、強い風が吹く春先は、火災が起こりやすい季節です。火の取扱いには注意しましょう。3月1日から3月7日までは「春季全国火災予防運動」期間です。家庭や地域で火災予防について考えてみましょう。

寝たばこは、絶対にしない。ストーブの近くには、燃えやすいものを置かない。ガスコンロなどのそばを離れる時は、必ず火を消す。

歩

いや癒しの水音めぐり・おしどりウォーク大会

【とき】 3月27日(日)

出発式 午前9時50分～

【集合場所】 町商工会館前(根雨)

【コース】 8km(根雨街部～金持神社往復)

【参加資格】 どなたでも可(小学生以下は保護者同伴)

【参加料】 一般=800円(当日1,000円)

中・高校生=600円(当日800円)

小学生以下=300円(当日500円)

【記念品】 ゼッケン、記念品、完歩証など

【申込期限】 3月18日(金)まで

【その他】 昼食用の弁当、手打ちそばもあります。

参加申込みと同時に申し込んでください。

(どちらとも600円)

Event

出雲街道根雨宿

走

おしどりマラソン全国大会

【とき】 3月13日(日)

開会式 午後1時30分～

【集合場所】 町商工会館前(根雨)

【コース】

Aコース 楽しみながら走るカップル(3km)

参加者全員に参加賞

Bコース 競走するカップル(合計5km)

3位まで賞状と副賞、全員に参加賞

女子=1.4km 男子=3km

カップル=0.6km

【募集定員】 150組(300人)限定

【参加料】 1組=3,000円

【申込期限】 3月5日(土)まで

【問合せ・申込み先】(株)まちづくり日野

tel 0859 72 0280

fax 72 1430

E-mail hino@tmo-hino.com

確定申告

所得税、住民税の申告は3月15日までです。申告日は各地区別に決めてあります。広報ひの1月号（1月20日発行）をご覧ください。
【問合せ先】 役場住民ふれあい課
 電話 72 - 0333

確定申告が必要な人

農業、商業、工業などを営んでいる方
 土地代、家賃、配当収入、不動産の売買などの所得がある方
 給与年収が2千万円を超える人、2か所以上から給与をもらっている人、年末調整した給与以外に収入がある人



期間内に正しい申告を

万が一の時に備えて
 交通災害共済に加入を
 現在、平成17年度の交通災害共済の加入受け付けをしています。この保険は安い掛け金で補償も充実。町民の方であれば、年齢に関係なくなたでも加入できます。
 万が一の時に備えて、家族そろって加入しましょう。
【掛金】
 1口が10000円で、1人3口(30000円)まで加入できます。
【保険期間】
 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで
【問合せ先】
 役場企画振興課
 (電話) 72 0332

安い掛け金で補償内容も充実

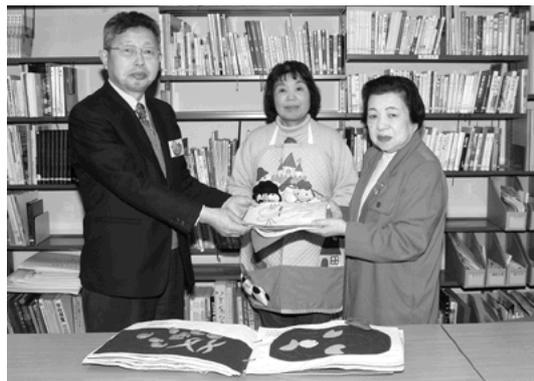
スポーツ安全保険に加入しましょう

スポーツ安全保険は、スポーツ・文化・ボランティア・地域・指導活動をする5人以上の団体を対象に、移動中も含めたグループ活動中の傷害事故や賠償責任を負う事故を補償する保険です。現在、加入を受けています。

保険期間 平成16年4月1日～平成17年3月31日(1年間)
 問合せ先 日野町教育委員会事務局 電話 72 2107

対象団体	掛金(1人)
子どもの団体(中学生以下)	500円
文化・ボランティア・地域活動(高校生以上)団体	1,500円
高校生以上のスポーツ活動団体	800円
老人クラブなどの団体(60歳以上)	9,000円
危険度の高いスポーツ活動団体	

手作りの良さを感じてほしいと2月2日、根雨地区婦人会(佐々木周子会長)が町図書館に、布地で作った絵本と人形劇ができるエプロンを贈りました。
 絵本は、ページごとに色や手触りのちがう生地やボタンを使い、開くたびにかわいらしい動物などが登場。人形を貼り付けたり、絵本の中に入れ込むことができると、見るだけでなく実際に触れて遊ぶことができます。
 エプロンには、背景が縫い付けてあり、ポケットに



布絵本とエプロンを町図書館に贈る根雨地区婦人会メンバー

想像力ふくらむ
**手づくりの布絵本を
 プレゼント**

根雨地区婦人会

入っている人形で「ジャックと豆の木」をひとりで演じることが出来る仕組み。布絵本同様にアイデアがいっぱいつまった作品になっています。
 同婦人会は、得意の裁縫を生かして、子どもたちに布の温もりや手作りの良さを感じてほしいと、有志が集まり昨年10月から4か月かけて作り上げました。
 町図書館では、保育所や館内で開いている「おはなし会」や館内に置いて利用することになっています。

インターネットで蔵書検索をどうぞ <http://ascpcenter.infosakyu.ne.jp/illis/top.htm>

糸ノコで

3月20日(日)根雨小学校

木のおもちゃを作ってみませんか

とき 3月20日(日)
午前10時～午後4時

ところ 根雨小学校・多目的ホール

講師 小黒三郎さん(倉敷市)

対象 小学4年生～大人

参加料 300円(材料費)

持参品 エンピツ、消しゴム、定規など

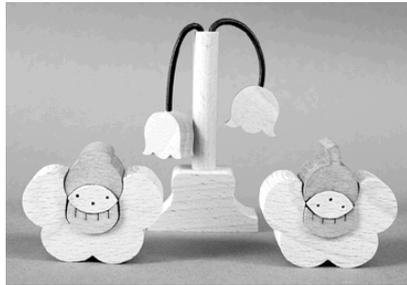
その他 昼食は各自で準備してください

定員 30人(要申し込み・先着順)

申込み期限 3月10日(木)まで

申込み・問合せ先
日野町図書館(電話72-1300)

日野町図書館では、毎月1回、図書館で「木のおもちゃづくり」を行っています。今回は、今年度の締めくくりとして、講師に全国的に著名な小黒三郎さん(倉敷市)を招き「木のおもちゃづくり教室の特別セミナー」を開きます。内容は、組み木の発想、作図、製作まで行います。糸ノコでかつらの組み木、おもちゃを作ってみませんか。



文化センターだより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月～金 午前9時30分～午後6時
土・日 午前9時～午後5時

カレンダー 3月
○印が休館日です

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	7	⑧	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	⑳	㉑	22	23	24	25
27	28	㉒	30	㉓		

図書館の展示コーナー

3月2日(水)～
3月30日(水)

手作り布絵本



文化センターからお知らせ

とっとり童謡音楽祭・童謡フェスティバルに日野町から「森の子合唱団」(17人)が出演。町民歌「きらりこのまち」などを歌います。ご声援ください。

とき 3月6日(日)開場 午後1時/開演 午後1時30分

ところ 米子コンベンションセンター・多目的ホール

入場は無料ですが、整理券が必要です。日野町文化センターにお問合せください(電話72-1300)



地球にいいことはじめよう めざそう循環型社会

連載 14

生活排水による水質汚濁を防ごう 合併浄化槽を設置しませんか

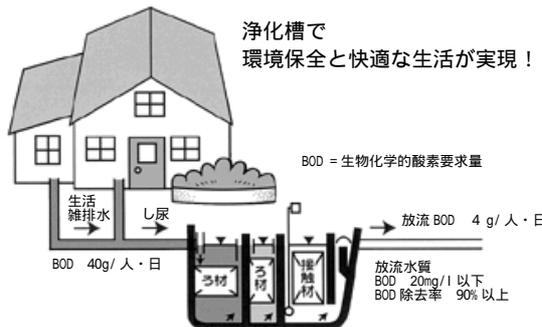
河川や湖沼の汚濁の原因の多くは、家庭から流れる台所排水や洗濯排水などだといわれています。

まちでは、公共下水道・農業集落排水事業の区域外の皆さんを対象に、合併処理浄化槽設置の補助制度を設け整備に取り組んでいます。

合併浄化槽は、台所や風呂の生活雑排水をし尿とあわせて処理できる装置です。

現在、17年度の合併処理浄化槽設置希望者の取りまとめをしています。希望される方は、自治会長を通して申し込んでください。

浄化槽で
環境保全と快適な生活が実現!



特徴

1. 処理性能が優れている
2. 設置コストが格安
3. 短時間で設置できる
4. 地形の影響を受けず、どこにでも設置可能
5. 自然の浄化能力を活用し、清流に回復

【申し込み期限】
3月3日(木)まで

【対象地区】
公共下水道・農業集落排水事業の区域外の地域

【問合せ先】
役場地域整備課生活環境係
(電話72-2101)

3月 暮らしのカレンダー

MARCH (弥生)



1 火	確定申告 開発センター 午前=高尾 / 午後=板井原、根雨2区 ----- 乳児健診 開発センター 受付=午後1時30分~午後2時	13 日	出雲街道根雨宿おしどりマラソン全国大会 開会式=午後1時30分(町商工会館前)
2 水	ペットボトルの収集日(1・2・3班)	14 月	不燃・資源ゴミの収集日(根雨・日野地区) ----- 確定申告 開発センター 根雨・日野地区の補足日 ----- 健康相談 開発センター 午前9時~午前10時
3 木	確定申告 町公民館 午前=下黒坂地区 / 午後=黒坂2区 ----- 年金相談 開発センター 午前10時~午後2時	15 火	古紙の収集日(黒坂・菅福地区) ----- 確定申告 開発センター 町内全地区の補足日
4 金	確定申告 町公民館 午前=上上菅 / 午後=福長地区	16 水	ペットボトルの収集日(7・8・9班)
5 土		17 木	
6 日		18 金	
7 月	不燃・資源ゴミの収集日(黒坂・菅福地区) ----- 心配ごと相談、子育て・高齢者生活相談 開発センター・老人福祉センター 午前9時~午後3時 ----- 人権相談 開発センター 午後1時~午後3時 ----- 確定申告 町公民館 午前=下上菅、中上菅 / 午後=中菅地区 ----- 健康相談 町公民館 午前9時~午前10時 ----- 成分献血 開発センター 受付=午前9時~午後3時	19 土	行政相談 町公民館 午前9時~午前12時
8 火	不燃粗大ゴミの収集日(黒坂・菅福地区) ----- 確定申告 町公民館 午前=黒坂6区、小河内地区 / 午後=黒坂5区	20 日	可燃ゴミの収集は休みます (春分の日)
9 水	ペットボトルの収集日(4・5・6班) ----- 確定申告 町公民館 午前=黒坂1区 / 午後=下菅、黒坂下3区	21 月	可燃ゴミの収集は休みます (振替休日)
10 木	確定申告 町公民館 午前=久住、黒坂7区 / 午後=黒坂上3区、黒坂4区 ----- 不要犬・猫引取り日 日野保健所	22 火	不燃粗大ゴミの収集日(根雨・日野地区)
11 金	確定申告 町公民館 黒坂・菅福地区の補足日	23 水	
12 土		24 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
		25 金	
		26 土	
		27 日	出雲街道根雨宿・癒しの水音めぐりおしどりウォーク 受付=午前9時(町商工会館前)
		28 月	古紙の収集日(根雨・日野地区)
		29 火	
		30 水	
		31 木	

直	総務課	72 0331	企画振興課	72 0332	住民ふれあい課	72 0333	健康福祉課	72 0334
通	地域整備課	72 2101	農林課	72 2102	黒坂支所	74 0211	出納室	72 2105
電	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103	教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
話	給食センター	72 1167	福祉センター	72 2555	公民館	74 0212	下榎集会所	72 1191
	根雨保育所	72 0238	黒坂保育所	74 0225	夜間・休日	72 0331		

空手道



(右) きびきびと型を決める子どもたち
(上) 大人は腰まで深く川の中へ
(左) 寒さに負けず気合を入れる拳士たち

己を鍛える

日野川で寒げいこ

「エイ、ヤアー」と大きな掛け声で今年1年の精進を誓う。

真冬の風物詩となった空手寒げいこ(少林寺流空手道錬成会館鳥取地区本部)が開かれました。

今年で21回目となる寒げいこには、県西部地区の道場に通う子どもから大人約20人、大阪総本部と宝塚地区本部から約15人が参加しました。

日野農業構造改善センター(根雨)鳥取西部農協日野町支所2階)で、突きやけりなどの基本練習で汗を流し、防衛や反撃の技を組み合わせた「半月」など美しく力強い型を披露しました。

場内は、拳士たちの気合で引き締まった空気が漂い、切れるある動作で型を打つ度に「ピシッ」と道着がこすれて鳴る音が響いていました。

板をけりや突きで割る試割では、それぞれ自分で枚数を決めて挑戦。見事に割れると応援に

訪れた保護者たちから大きな拍手が起こっていました。

基本けいこで体を温めた拳士たちは、JR伯備線鉄橋上の日野川へ移動。身を切るような冷たさの川の中に入り、大きな掛け声とともに気合を入れながら拳を突き出し、打ち込みをしました。

川から上がった拳士たちは「始めは冷たくて痛いという感覚でしたが、気合を入れてがんばりました」と話していました。



試割は自分で枚数を決めて挑戦



今年1年の精進を誓う拳士たち

少林寺流空手道錬成会館では、各道場で毎週練習をしています。興味のある方はお気軽に会場にお越しください。

根雨道場 = 毎週水曜日に根雨社会体育館(根雨) 時間はいつでも午後7時から

江府道場 = 毎週月曜日に江府町総合体育館(江尾) 日南道場 = 毎週火曜日に日南町武道館(霞)



日野町食生活改善推進協議会の会員さん **料理**^⑬
オススメ

そば粉を使ったお菓子づくりに挑戦



そば粉ロールケーキ

【材料】

そば粉 (60g)、卵 (4個)、砂糖 (80g)、牛乳 (大さじ2)
バニラオイル (少々)、ゆずのハチミツ漬け (130g)
飾り用くだもの (キウイ、柿など)

【作り方】

- ①天板にオーブンシートを敷く。
- ②卵は、卵黄と卵白に分け、卵黄に砂糖の半量を加え、よく泡立てる。卵白は8分立てにし、残りの砂糖を少しずつ加えながらつやよく泡立て、卵黄と合わせてバニラオイルを加える。
- ③②に、そば粉をさっくりと混ぜ、そこへ牛乳を加えて混ぜ、①に流し、180℃のオーブンで約13分焼き、粗熱をとる。

▶エネルギー 1,111kcal ▶タンパク質 33.6g ▶脂質 23.9g ▶カルシウム 169mg ▶塩分 0.8g

「花回廊にオシドリが来た」という情報が入りました。花鳥風月とは、よく言ったものです。「神田りんご園やゴルフ場の池で見たよ。昨年は2〜3羽だったけど今年は相当の数」という情報もあります。県内に広がるといいですね。

ただ今、日野川ではオシドリ千羽以上。グループ結成10年で過去最高の数です。皆様に応援していただいたおかげです。

【連絡先】 オシドリグループ事務局

森田 (電話72 0271)

千羽のオシドリ



VOL. 84



「雪どけ水、最高に気持ちいいね」

撮影 勝部 正さん (島根県横田町)

おくやみ
ご冥福をお祈りします

(氏名) (年齢) (住所)

1月
後藤 勇 76歳 小河内
清水 保 67歳 中菅
吉川 弘幸 84歳 黒坂

広報ひのは、みなさんが登場する「まちの広報紙」です。作品を紹介する「ギャラリー」、人にスポットを当てた「きらりこの人」などのコーナーがあります。自薦、他薦は問いません。企画振興課 (電話72・0332) まで情報をお寄せください。

届出 1月11日〜2月10日 敬称略

赤ちゃん誕生
おめでと〜ございます

(出生児) (保護者) (性別) (住所)

1月
奥田 世来 研一・美名 男の子 本郷
加藤 櫻子 泰夫・千恵 女の子 下榎

2月
野田 柚月 美明・絵里 男の子 野田
名越 椿 淳一・薫 男の子 野田

1月31日現在

わたしのまち

(前月比)

人口 4,375人 (-2)
男性 2,060人 (-3)
女性 2,315人 (+1)
世帯 1,561戸 (+1)

うぐいす ね
鶯の音に春を知る

平野流和紙ちぎり絵

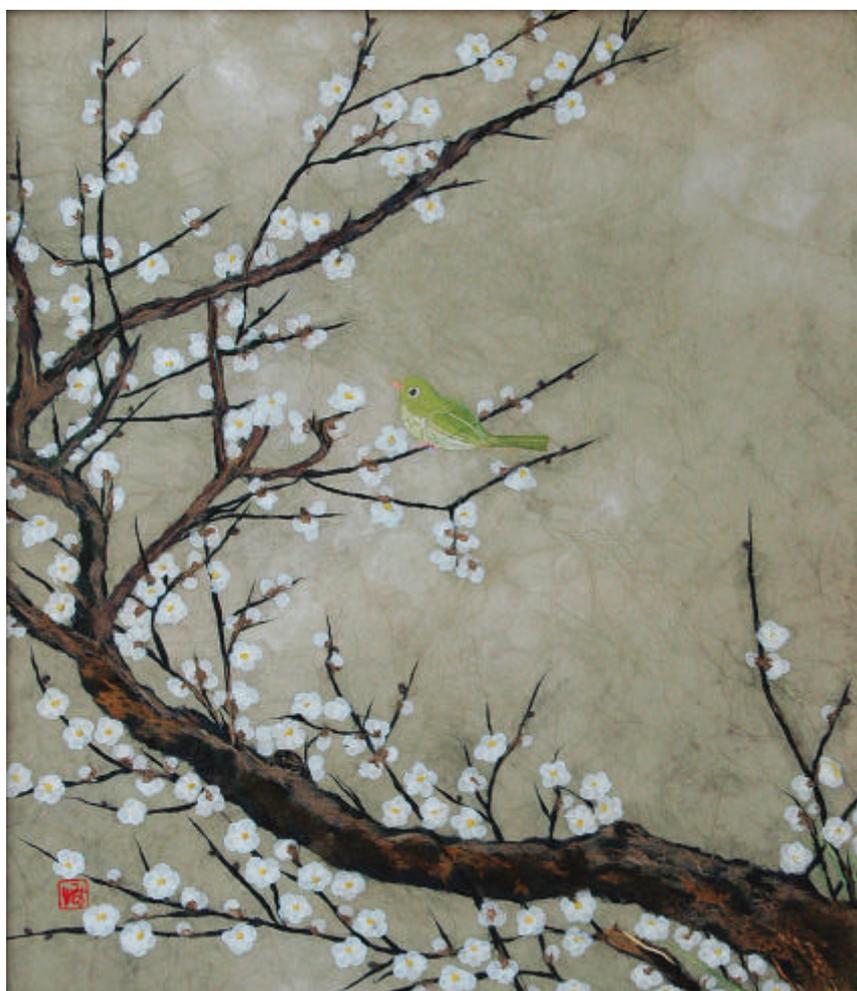
森 みのり (さん(榎市))

ちぎり絵を始めて10年以上が過ぎました。和紙が持つ独特の美しい色に見せられて教室に。家元の美しい作品「アジサイ」に感動し、ちぎり絵のとりこになってしまいました。

自分の指先だけで和紙をちぎり、立体感を出すために重ね貼りをする。実物は、どのような形で色はどうか―忠実に表現する技法に、私の中にも研究心が芽生えました。

画題は、四季の移り行く景色や草花などさまざま、つきることはありません。今年は、動物にこだわって作っていききたいと思っています。

月に1度、仲間といっしょに作品づくり。それは、雑談やワクワクするちぎり絵の世界に没れる楽しい時間。ちぎり絵には「何かひとつ趣味を持つ」ということの大切を教えてもらいました。これからも、ちぎり絵の世界を楽しんでいきたいと思っています。



- 広報ひの2月号 NO. 613
- 発行 日野町役場 〒 689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨 101 TEL (0859) 72-0332 FAX72-1484
- 編集 企画振興課 ● 印刷 株式会社高下印刷
- ホームページ <http://www.town.hino.tottori.jp/> ● 電子メール info@town.hino.tottori.jp